

ライフサイエンス分野プロジェクトチーム報告概要

検討の視点

- ・国民の健康や生活の向上に直結する重要技術。国際競争も激化
- ・産業の競争力は欧米に遅れ
- ・大きな研究開発リスク

分野の特性

- 一製品少数特許
(少数の基本特許で保護)
- めざましい技術革新
(遺伝子組換え生物、再生医療、DDS (ドラッグ・デリバリー・システム) 等)
- 知財保護の重要性と公共性
(医療など高い公共性)
- 代替性の乏しい実験手段
(実験用遺伝子改変動物等のリサーチツール)

現状と課題

- 欧米が特許出願でリードするも未知の領域の広がり
→研究の活性化と基本特許の戦略的取得
- ・研究分野の選択と集中による基本特許の重点的取得
- ・研究開発にはリサーチツールの利用が不可欠。これを利用しやすい環境整備
- 応用研究力や産業競争力は弱い
→研究成果の円滑な事業化と国際的事業展開
- ・産学連携の強化
- ・グローバルなビジネス展開のため、国際出願の促進
- 急速に発展する新技術分野
→社会経済情勢や最新の技術動向を踏まえた知財制度の在り方の検討

対応策

～「パテントフロンティア」の開拓～

1. 基礎研究の戦略的重点化
 - 異分野融合領域等の研究開発の推進
 - 競争的資金等の評価におけるパテントマップ等の活用
 - リサーチツールデータベースの構築
 - データベース構築の担当省庁の明確化
 - 関係省庁の協力体制の構築
2. 研究成果の円滑な事業化と国際展開
 - 大学知財本部・TLOによる知財の創出・技術移転機能の強化
 - 大学、ベンチャー企業、臨床機関等との連携強化による橋渡し研究の促進
 - 特許制度運用の国際的調和、育成者権の国際的保護、外国への出願の支援
3. 新技術に対応した知財制度の見直し
 - (1)存続期間延長制度の見直し
遺伝子改変生物、DDSを対象とするなど制度の在り方について抜本的な検討の開始
 - (2)先端医療技術の保護に関する情報の収集・分析
改訂した審査基準の運用状況、技術動向や国際的な議論の動向について引き続き情報を収集・分析